

令和5年度 教育行政執行方針概要



教育長 三浦 剛

6月21日に開会された第2回定例会で、三浦教育長が令和5年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

教育委員会では令和5年度から、今後10年先を見通した教育の目指すべき姿を示す「第2期沼田町総合教育計画（沼田ならではの学びの好循環の創造）」を策定しました。第1期計画の基本理念を継承しつつ、変化が激しく予測困難な時代にあってもその情勢や課題に対応できる人財を育成するための教育施策を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活様式や社会情勢などに大きな影響を与えてきました。が、持続的に児童生徒などの教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減しながら、

ら、学校運営を継続してまいります。5月8日に感染症法の位置づけが5類感染症に移行されたことに伴い、国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改正され、引き続き学校における基本的な感染症対策を継続するとともに、家庭との連携を図りながら、日頃からの対策を徹底してまいります。

また、ICTを活用した新たな教育スタイルの構築に向けた、授業実践の普及に努め、子どもたちが変化する社会の中で主体的に生き抜くことができるよう、地域社会に貢献する人財を育成する教育を進めてまいります。

生涯学習の推進については、町民一人一人が生涯を通じて学び続け、豊かさを実感できる充実した生活を送るためには、確かな知識と教養を身に付けることが必要です。仲間づくりを通じて生きがいのある生活を実現するとともに、継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めてまいります。

○小中一貫校「沼田学園」

「沼田学園」は、これまで沼田の子が夢や希望の実現に挑戦し、心豊かにともに支え合いふるさと沼田に誇りを持ち、たくましく成長してほしいとの願いのもと教育活動を進めてきました。

小中一貫型小学校・中学校であること、施設形態が施設分離型であることの効果や課題を検証しながら、組織的な対応を進めてまいります。そのために、学校運営協議会をはじめ学校・家庭・地域の連携・協働のもと、これまでの成果を生かしながら、学園における組織体制・指導体制の更なる充実を図り、義務教育における、子どもたちの心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めます。

○学力向上対策の推進

学力向上のため、全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の結果から、「思考・判断・表現」に課題があることが判明しています。課題を解決するために、主体的・対話的で深い学びの視点からの組織的、計画的な研修体制の充

実を図り、教職員個々の授業力向上、授業改善に取り組みとともに、一人1台配布されたタブレットパソコンなどを活用し、個別最適な学習を進めてまいります。

町内での学習機会の確保のため「沼田町公設塾（みらい）」を活用しながら、引き続き学力向上の取り組みを進めてまいります。

○ふるさと教育やキャリア教育の充実

沼田町は先人のためめぬ努力により、北国の厳しい条件を克服しながら発展してきました。その先人のフロンティア精神を継承しつつ、ふるさと沼田への愛着や誇りを育むため、小学校の授業においてそらち自然学校に専門的なプログラムを担っていただきながら「自然体験授業事業」を実施し、非認知能力など生きる力を育成するなど、沼田ならではの教育を進めます。

○国際・地域間交流

子どもたちの豊かな国際感覚の醸成や語学力、コミュニケーション能力を育むため、海外の生活や文化に触れることは重要でありま

す。新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかったポーターデー地区への訪問団派遣事業を、訪問する機会が得られなかった高校3年生まで対象を拡大し、引率を含めて15名の派遣を決定したところです。交流事業を通じてお互いの文化、習慣、価値観などを理解しあい、異なる文化や生活習慣を持つ人々と協働して、生きていく力の育成につなげてまいります。

○豊かな人間性の育成

沼田町の豊かな自然の中で共同生活をする中で、常に五感から様々な刺激を受け、普段体験することができない野外活動を通じて生きるための知識や技術を身につける「自然体験キャンプ」は、「そらち自然学校」に委託して、専門的なプログラムにより、効果的に取り組んでまいります。

○山村留学など

未来の関係人口・交流人口の創出に向けて、都市部の小・中学校の児童生徒が、豊かな自然や人間関係の触れ合いなどを通じた体験

教育を目的として、「住民票を移動せず転校」できる仕組みである2地域居住による「区域外就学制度」を活用しながら、沼田の小・中学校に通学する山村留学などの導入に向けた調査・検討を進めてまいります。

○社会教育施設

化石体験館については、化石の体験メニューなどを提供し、貴重な太古の資源を町内外に広く発信してまいります。本年はオープンから15周年を迎えたことから、夜間に特別に開館して夜の海をイメージした「ナイトミュージアム」を特別企画として実施いたします。

○物価高騰の影響に伴う給食費の支援

エネルギー・食料品価格などの物価高騰に伴い、保護者の経済的負担が増加していることから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、6月からの学校給食費を全額助成して保護者負担の軽減を図ってまいります。